

みさきっ子通学合宿で方言教室を開催！

御前崎小学校の4年生から6年生までの34人が参加した通学合宿の中で、地元の方言を勉強。聞いたこともない方言の問題に参加した子どもたちは悪戦苦闘。まるで日本語じゃないみたい。自分の住んでいる地域の言葉なのにこんなにも違うなんて方言って面白い。



方言で日常会話を書いてみました。難しくない方言だからみんな分かるら。回答は下段を見てごろうじ。

【例文】

- ①猫が(ああぬきまい)になってじゃれている
- ②あの子どもはいたずらで(せずようがない)
- ③私の家とあの家は(おやく)だよ
- ④ごはんが茶わんに(かあばって)いる
- ⑤今朝の雨で(まいまい)が出てきた
- ⑥竹の(うらっぽう)が危ない
- ⑦太陽が(ひんずらしく)て帽子をかぶる

回答 ①あおむけ ②手に負えない
③親戚 ④こびりつく ⑤かたつむり
⑥木や竹の先 ⑦まぶしい

古川純菜さん(6年)



えめんぞは側溝っていう意味なんだ。方言だとこんな言い方になるだね。



加藤泰平くん(4年)

知らない言葉がいっぱいだ。帰ったら家族にも聞いてみよう。

松井晴くん(4年)



親戚って言葉がどうしておやくという方言になったのかな。

◆方言一覧(抜粋)

方言	意味	方言	意味	方言	意味
あいさ	間(あいだ)	かっちめる	独り占め	ぞんぐり	ぞっとする
あだける	ふざける	ぎっとお	融通の利かない	ちゃっと	急いで
いみり	亀裂	きっちゃか	機敏・てきぱき	ちんぷりかある	ものすごくすねる
えめんぞ	溝・側溝	くすがる	刺さる	とぶ	走る
えらい	疲れた、しんどい	くろ	隅・はじっこ	なご	霧
おごつつお	ごちそう	ごーがわく	腹が立つ	ばんたび	毎度毎度、繰り返し
おっしい	おみそ汁	じゅるい	ぬかるんだ	らっかい	乱雑、荒っぽい

ここに掲載した方言はほんの一部です。地域によって表現が異なることがあります。ご了承ください。

※参考資料「うらん町の方言」より



御前崎公民館長
松下秀夫さん

年齢を重ね、方言だらけの仲間との会話に温かな味わいを感じるようになり、方言をもっと使いたいと思いました。子どもたちにも方言を伝えたいと考えていたとき、公民館で『うらん町の方言』の冊子を見つけ、これを使いみさきっ子通学合宿で子どもたちに方言教室を開催しようと考えたんです。小学生には難しかったかな。家族で話題になっただろうか。これを機会に少しでも興味を持ってもらえればうれしい。言葉は時代の変化で変わるもの。とくに方言は書物などに残らず失われやすい。何もなければそのうち誰も分からなくなってしまうと思います。また、活字だけでは方言の独特な意味合いを伝えるには限界がある。声に出してこそ全体の雰囲気がかかる。方言を次の世代へ伝えていきたいですね。

残したいうらん町の方言